

令和3年度の学校評価結果

<p>前年度の重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との好ましい人間関係づくりを推進し、工科高校の好スタートに向けて取り組む。 ・工科高校のスタートとして、新しい分野へのチャレンジや学科改変に伴う教育内容の研究を進める。 ・ホームページなどを通して、家庭・地域に向けた情報発信を積極的に行い、地域から必要とされる学校づくりを進める。 ・基本的な生活習慣の確立を図り、身だしなみの定着や自ら進んで挨拶ができるよう指導する。 ・地域イベントに生徒を積極的に参加させるなど、自ら進んで学ぶ姿勢を養う。 ・基礎・基本を大切に、分かりやすい授業を実践するなど、授業改善に取り組む。 ・自ら目標を設定し、目標達成に向けて行動ができる姿勢を育成する。 ・工科高校として、新しい時代に合った学校行事を検討し、生徒募集にもつながる取り組みを行う。 ・安全衛生委員会など既存の組織を活用しながら、健康障害防止や業務の改善に向けた取組を行う。 		
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍におけるPTA活動の充実を図る。 ・防災教育を通じ、生徒、職員の防災意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしながら、できるかぎりPTA活動を実施する。 ・防災訓練などを通じ常日頃から防災について意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響でほとんどのPTA活動を行うことができなかった。しかし、PTA活動の精選を考える良い機会となった。 ・通常の防災訓練は実施したものの、防災について、学校全体で意識を高める必要がある。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム(メソフィア)の運用を進める。 ・新教育課程の実施に向けた学習評価の指針の策定と本校の教務規定の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム(メソフィア)の導入に合わせて、従来の成績処理システムからの移行と、関連分掌との業務の分担を図る。 ・各教科で評価基準の作成に取り掛かれるように準備する。 ・新教育課程の実施に合わせて成績評価の基準の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム(メソフィア)の導入に対して、生徒情報の項目を関連分掌と連携してまとめることができ、従来の成績処理システム等からの移行についても、滞りなく行うことができた。 ・新教育課程の実施に向けて、各教科・学科の意見を集約しながら、学習評価の指針の策定を行い成績評価の方法や基準の見直しを進めることができた。
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染防止対策をしながら、読書啓発活動を行う。 ・魅力ある図書館にするために、環境整備や広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながら、図書オリエンテーション、読書感想文コンクール、職員図書委員会、生徒図書委員会などを実施し、生徒に読書の楽しさが伝わるようにする。 ・図書室の消毒、魅力的な図書のディスプレイ、新刊図書の充実、図書館だよりや図書館報の発行などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用するすべての生徒や職員が、感染対策の徹底に協力してくれた結果、予定した図書館行事を実施することが出来た。 ・従来の魅力ある図書館づくりに加えて、感染対策にも力を入れ、withコロナ時代の図書館の在り方を構築することが出来た。
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と自己実現を図るための自己指導能力の育成 ・いじめの早期発見と適切な事案対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のあらゆる場面で、生徒が自発的に挨拶や適切な行動ができるよう、全職員が意識し、指導にあたる。 ・いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら考え行動ができるように働きかけることができたが、定着に至るまでには届かなかったと思われる。引き続き、全職員が意識し、指導にあたるべきであると考えている。 ・クラスにおける人間関係や生徒間のトラブルについて、関係職員の連携を持って、把握と早期の対応を図ることができた。引き続き関係職員と連携を図り対応していきたい。
<p>特活部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校(生徒会)行事への積極的な参加を促す。 ・福祉・ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の部活動の定着及び活性化を図る。 ・生徒会行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。 ・福祉・ボランティア活動を通して、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年部活動が活発に行われてきている。多くの部活動で県大会等の上位大会へ出場することができた。 ・行事の運営を生徒主体で行えるよう継続的に指導することができた。 ・多くの生徒がボランティアに参加し、学校外での活動にも参加させていきたい。

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般を通して正しい職業観と勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。 ・選科の実施にあたり、生徒の将来設計を考えた選択ができるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任を柱として、学科や職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、ミスマッチのない進路指導をする。 ・各種情報を活用しやすい形でデータ作成し、担任や学科を通して1年次からも進路情報を把握できるようにする。また、外部に向けての情報提供が進められるよう、データの見直しと整理を行う。 ・選科実施のあたり、学科主任と協力をして分かりやすい資料作成や情報提供を実施し、選科作業を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談情報と作成し、担任・学科主任との連携を図り、進路指導を充実させることができた。 ・各学年への進路講話の充実を図り、学期に沿った進路指導を協力して実施できたが、企業説明会などイベントの開催が出来ず、今後はコロナ対策とともに出来る形を検討したい。 ・選科においては、保護者会で説明会が実施が出来ない状況であったが選科は終わることが出来た。今年度の反省を次年度に生かしていきたい。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立させ、自主的な健康管理が行えるようにする。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を自ら行っていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団・個別の保健指導を行い、健康に対する意識向上を図る。 ・相談活動を充実させ、精神的な健康問題の早期発見に努める。 ・新型コロナウイルス感染防止対策について継続的に注意喚起をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診結果を疾病の治療に役立てることができた。 ・教育相談について関係職員で連携し、一定の成果が得られている。特別支援について、組織としての対応の仕方を検討していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染防止対策について引き続き注意喚起を継続したい。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得、競技会を通して生徒の学ぶ力と意欲向上を図る。また、その成果を情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得、検定試験、競技大会などへの積極的な挑戦を促す。 ・中学生学校説明会の実施 ・ホームページをタイムリーに更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に情報提供を適切に行った。競技大会での東海大会出場やジュニアマイスターを複数名が授与され成果が上がった。 ・今年度もコロナ渦の中、中学生体験入学を実施することができ、女子生徒への質問会等新たな取り組みができた。 ・ホームページを頻繁に更新することで、閲覧者に見栄えのある内容に変えることができた。
機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業や基礎・基本の定着を図り、地域に求められる人材の育成を行う。 ・時代と地域社会に則した機械教育の探究に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業や実習において、その回の目標・目的の明確化し、小さな目標達成の積み上げにより、生徒に自己肯定感と学習意欲の高揚を図る。 ・企業見学や地域イベントへの参加を積極的に行い企業からの要望や地域の声を集約し、授業や実習テーマについてキャリア教育の最適化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや資料のデジタル化を推進し授業や実習の各単元における内容や展開の改善ができるようにした。 ・ものづくり教室や出前授業を行い、地域や中学校の声を聞くことができた。また工場見学を実施し、キャリア教育を実践することができた。
電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・くくり募集のメリットを生かした幅広い学びと情報や技術に対する深い学び ・広報活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0を見据えた授業や校外の取組を積極的に実践する。 ・工科高校のPRを含めた情報発信をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による校外活動が限定的ではあったが、一部緩和されたものへは積極的な参加を行うことができ、成果も出せた。 ・ものづくりや本校本科への興味が持ってもらえるようなコンテンツ情報の発信を行っていききたい。
建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな資質・能力を育み、キャリア教育を行う。 ・家庭や地域に対する情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いた授業を通し、生徒の興味関心を引き出すような授業を行うとともに、専門の資格取得を目指す。 ・ホームルームなどを活用し、上級生による情報交換や卒業生による中学校訪問など建築デザイン科としての活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師、現場見学を通して建設業の興味関心の向上が図れた。また、資格取得も積極的に行うことができた。 ・出校授業や地元企業とのタイアップを積極的に行い、生徒が自ら積極的に参加し、地域とのつながりを充実させたい。

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
環境工科学科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着と資格取得の充実を図る。 地域へ向けた環境工科学科のPR活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築デザイン科と協力して、1年次より生徒の学習意欲を引き出すような授業を行うとともに、課題等の提出期限の厳守を徹底する。 資格検定の年間計画に沿って、生徒に資格取得と共に補習を実施し、合格率の向上を目指す。 校外イベント等への積極的に参加をすると共に、ホームページによるPR活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築デザイン科と協力をして、学習活動、資格取得で連携して進めることができた。選科決定後の授業内容についても検討して充実させることができた。選科決定後に現場見学などを入れてさらに充実を図りたい。 新型コロナウイルス感染症で校外での検定試験の受験者が減ってしまった。校内で実施できる検定や対策を考えたい。 参加可能なイベントには参加し、環境工科学科をPRできた。HPも改編し、見やすい内容にした。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着と社会人基礎力の向上 進路実現に向けてのキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守り、自己管理ができる生徒を育て、さらに社会人として必要な能力を向上させていく。 進路実現に向け自己分析と企業研究を進め、学力の向上を図り自らが希望する進路を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣については、多くの生徒が時間を守り生活することができており、特に修学旅行では時間を守った行動を行う事ができた。 進路の実現について、進路指導部や各学科と連携し指導することで就職試験の1次不合格者数を減少させることができた。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着 礼節を重んじた行動 進路実現に向けてのキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動を習慣づけ、自ら率先して行う挨拶と身だしなみの向上を図る。 自己分析を通して、将来像を考えさせ、進路実現のために何をしたらよいのか、思考を深めさせる。 部活動や学校行事、資格取得、ボランティア活動に積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大半の生徒は、5分前行動を意識して行動している。挨拶は運動部活動生を中心に意識的に取り組める生徒が増えてきたが、今後も継続した指導が必要である。 進路ガイダンスや企業調べを通して、進路意識を高めることができた。今後は、自己分析を深め、適切な進路選択につなげていきたい。 部活動や学校行事は、制限がある中でよく頑張っているが、感染症の影響で継続的な努力が難しく、心技体のいずれも成長の幅は小さい。資格取得は、一部の生徒ではあるが、意欲的に取り組んでいる。全体として、学校生活の中で目標をもって取り組んでいる生徒が多い。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動や自ら挨拶することを心掛けさせる。 各教科学科と連携を図り、提出物の有無を共有する。また、健康観察などから気になる生徒には迅速かつ密な連絡を家庭と図る。 全ての生徒に高校生活の中で、資格取得やボランティア、部活動等に目標をもって取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末において遅刻が増えた。基本的な生活習慣が確立していることをよしとする雰囲気づくりに力を尽くす。 来年度は、各学科に分かれるため専門性が増す。卒業後の進路を見据え、色々な活動に挑戦したいと思える環境を作っていく。
総合評価	<p>工科高校のスタートとして、新しい分野へのチャレンジや学科改編に伴う教育内容の研究を進めることができた。さらに、QRコードを学校案内に載せて、ホームページを積極的に活用させた。学校行事と業務の見直しを一部進めたが、改善の余地は十分にある。</p>		